

大草谷津田いきものの里 自然観察ガイド

オニヤンマを探そう

田井中 信子(千葉市)

日 時：2009 年 9 月 6 日（日） 10 時 30 分～12 時

参加者：48 名（大人 22 名 子供 26 名）

担当指導員：和仁道大、田井中信子

初めに「大草谷津田いきものの里」の生い立ちを説明し、いきものを持ち込まない、持ち出さない事をお願いした。参加者数は、昨年 9 月 7 日とほぼ同数（昨年 51 人）の盛況ぶりであった。具体的なテーマが良かったと思う。参加者の特徴は、大草に初めて来た人が多く、遠く花見川区から来た家族もいた。

幼児たちが父母に手をひかれ、広場から谷津田へ移動する長い列の最後尾を歩いていた私は、観察会というよりトンボ採り大会のようになるかなと思った。谷津田では稲穂の上を多種類のトンボが飛んでいた。たちまち列が乱れ、子供も大人も網を振り回してトンボ採りに熱中した。ややあって、「オニヤンマが採れた！！」という声がした。みんな声の主を取り囲んだ。「わあー、大きい。」、「近くで初めて見た。」、「噛まれると痛いかな？」などみんな興奮気味だ。トンボ博士の互井先生が、大草のトンボを見たいと参加された。互井先生を取り囲んで、特にお母様方は感嘆しながら説明を聞いていた。子供達はトンボの羽をジャンケンのチョキの指で持つ方法を教わり、早速指で挟み持って満足そうだった。採れたトンボは以下の通り。

オニヤンマ（♂）、オオシオカラトンボ（♂、♀）、シオカラトンボ（♂、♀）、ナツアカネ、ノシメトンボ、コノシメトンボ、マユタテアカネ、オオアオイトトンボ（♀）。

参加者の感想として、子供達が自由に網を振って喜んでいるのを見るのは楽しい。公園と違う自然環境の素晴らしさを感じた等の発言があった。